

Kumamoto

M.C.C.

Take Free

Kumamoto Media Contents Commission

新しい“くまもと”を、世界へ
熊本メディアコンテンツcommission
はじまります。





はじめまして Kumamoto MCCです。

私たち『熊本メディアコンテンツコミッショナリーアクション協議会』(以下、熊本MCC協議会)は、クリエイターに新たなマンガ、ゲーム、小説、映画等のエンターテインメントコンテンツを創ってもらうためのお手伝いをする団体です。

熊本県内にある「人物・話題・ストーリー」等を集め、分かりやすく編集。それらをクリエイターにコンテンツ作りのネタとして使っていただくために、発信していきます。

方法としては大きく2つ、WEB『Kumamoto MCC』(<http://www.kumamoto-mcc.com/>)での公開、そして熊本へクリエイターを招いて実際に体感してもらう『クリエイターズツアー』の実施です。

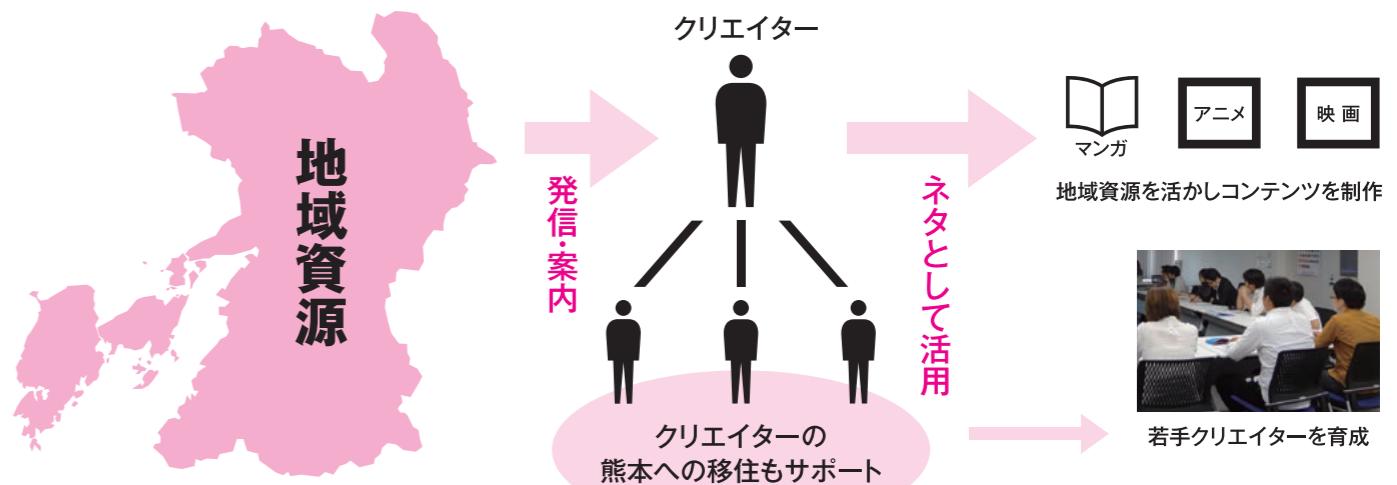
熊本をネタにしたコンテンツが話題になることは、熊本の魅力を県外に、世界に発信することにつながります。「人物・話題・ストーリー」という貴重な地域資源を活かし、地域の活性化と新しいエンターテインメントコンテンツの創造につなげていきます。



Kumamoto MCCが目指すこと。

熊本に眠っているネタ、お話し、地域資源を発掘し、クリエイター側とマッチングさせることは、その地域とコンテンツ業界の両者にとってプラスとなります。地域資源を活用してコンテンツ制作を進めることで様々な産業や文化の創出に広がる可能性があります。また、環境が整えば

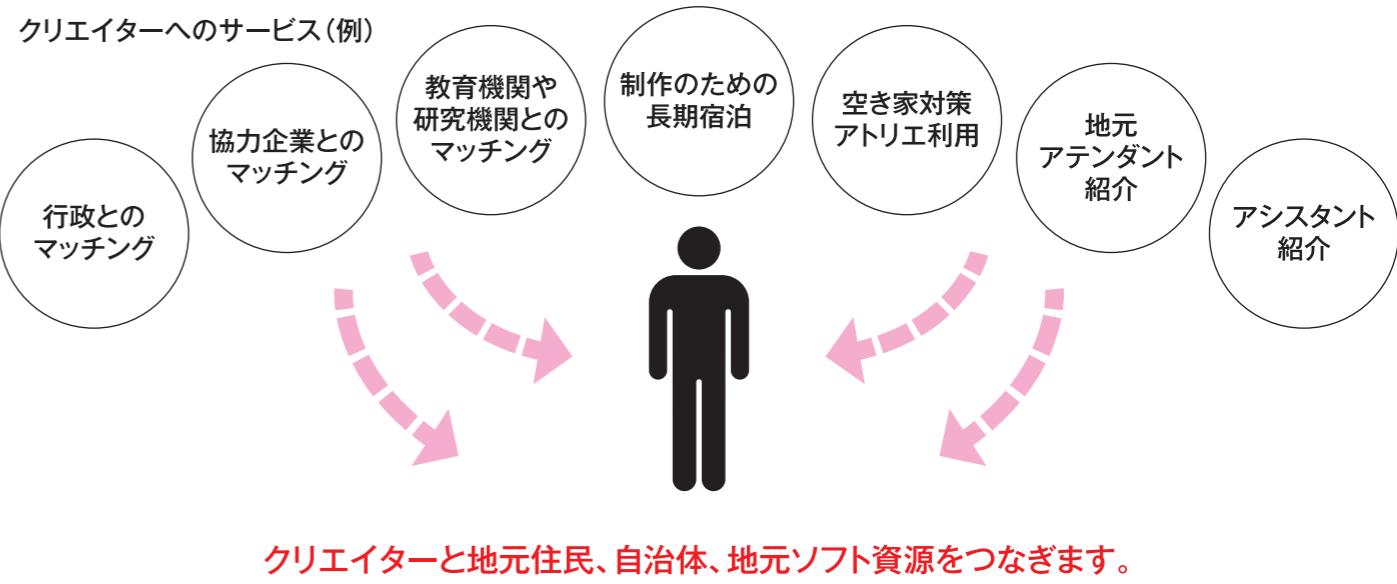
将来的に製作陣、制作会社の移住をうながすことができ、地元でクリエイターを育成することに繋がります。移住するクリエイターと地域から育つクリエイターの受け皿となる会社が集積することで、熊本県域に新しい産業を作り出すことを最終目標として考えています。



クリエイターの創作活動もサポート

作者や制作関係者が熊本へ取材に来る際のサポート体制を確立するためにも、クリエイターズツアーを実施しながら、現場の声をヒアリングして、各自治体および企業・団体の取り組みに活かしていきます。また、クリエイター

支援事業を見据えた取り組みをすることで、観光振興や地域活性化に役立て、作者の移住や企業誘致の可能性も探ります。



Activities ~Kumamoto MCCの活動~

Activity
01

ゆかりの偉人を発掘、Webで紹介! くまもとのお宝キャラ

マンガ、映画、小説など、作品づくりにおいて、キャラクターはとても重要なファクターとなります。風光明媚な自然、情熱的でもっこす（強い信念を持った、良い意味での頑固者）な県民性を背景に、熊本県は多くの傑人を生み出してきました。熊本MCC協議会では偉人にスポットを当て、地元だからこそ知り得る深い情報とともに紹介するウェブサイトを制作、運営しています。熊本が誇る偉人たちは、クリエイターの方々にとって、きっと作品づくりの参考になる「地域の宝物」だと私たちは確信しています。

熊本 MCC 検索 <http://www.kumamoto-mcc.com/>

■サイトで紹介している偉人の一例

森 慈秀



夢の架け橋を叶えた男

天草の島々に橋を架ける「天草五橋」の構想を提案した人物です。当初、実現不可能ということから「ゆめの架け橋」と言われながらも、苦節30年をかけて、天草五橋を完成させました。天草五橋の完成により、それまで天草を訪れる観光客は年間に45万人でしたが、昭和41年の開通の年だけでも7倍の315万人に。観光・経済・医療等、様々な分野で天草島民が受けた恩恵は計り知れません。

夢を唱え、現実化していくまでは、数々の苦悩や費用の壁、苦労があったに違いありません。森氏のサクセストーリーは、今の日本人にとっての大きな応援歌となるはずです。

江上 トミ



日本の料理研究家の第一人者!

NHK『きょうの料理』放送初期より、講師として出演した人物です。同局『第11回NHK紅白歌合戦』には審査員として出演。今では一般的になった「料理研究家」という職業の第一人者といえます。江上氏は生涯をかけて家庭料理の大切さと楽しさを伝え続けました。彼女の足跡をたどることは、日本の大切な食文化をたどることにもつながります。

リロイ・ランシング・ジェーンズ



熊本の近代化に大きく貢献!

アメリカ人のリロイ・ランシング・ジェーンズは、教師として5年間、熊本洋学校教師館（通称：ジェーンズ邸）で生活。明治9年（1876年）の廃校まで教鞭をとった人物です。日本で初めての男女共学を実施したといわれ、後に日本の宗教界、教育界、実業界のリーダーとなる逸材「熊本バンド」を輩出しました。また、アメリカから取り寄せた野菜の種で、今日の熊本の野菜作りの基礎をつくり、生徒たちに牛肉と野菜の入ったシチューを食べさせて、牛肉、牛乳、パンを食するきっかけもつくるなど、熊本の近代化に大きな貢献をしています。

「コンテンツを活用して、熊本をさらに活性化させたい」
そんな想いのもと、熊本MCC協議会が行っている活動の一部をご紹介します。

Activity
02

ファン垂涎のお宝がざっくざく! お宝マンガ発掘隊 in 合志市

2015年12月13日、熊本県合志市において第一回『お宝マンガ発掘隊』を開催。これは、合志市西合志庁舎に収蔵されている膨大な量のマンガ、アニメ雑誌、単行本※1の中から、「自分にとってのお宝」を見つけ出すというイベントです。その作品が自分にとって「なぜお宝なのか?」を参加者同士でプレゼンし、最も興味と共感を集めめた方を優勝者とするワークショップ型のイベントで、当日は多くの参加者がマンガに対する「熱い想い」をぶつけ合いました。さらにアニメプロデューサーの赤井孝美氏（米子ガイナックス株式会社代表取締役）をゲストにお招きし、お宝話もたくさん披露していただきました。



※1
熊本マンガミュージアム
プロジェクト代表・橋本博氏の
コレクションの一部。
その数は7万冊以上!



GUEST 赤井 孝美さん



1961年、鳥取県米子市生まれ。映像・イラスト・ゲーム作家。「米子ガイナックス株式会社」代表取締役。80年代、アニメ業界を震撼させた第3回日本SF大会大阪大会（DAICONⅢ）のオープニングアニメに登場する「DAICONの女の子」を手がけ、世の中のアニメファンたちを熱狂させる。その後、庵野秀明（のちにエヴァンゲリオン監督）、山賀博之、岡田斗司夫らとともにアニメ制作会社『ガイナックス』を立ち上げ、育成シミュレーションゲーム『プリンセスメーカー』シリーズを生み出す。



前夜祭も大盛況!

イベント前日となる12月12日には、熊本市内某居酒屋にてトークライブ『アニメ夜話』を開催。参加者はお酒を片手に、赤井孝美さんと橋本博さん（熊本マンガミュージアムプロジェクト代表）のディープな話に耳を傾けていました。笑いあり、驚きの声あり、日本アニメ界の最前线で活躍する赤井さんの話は、どれも刺激的。大盛り上がりの夜会となりました。



ウェブサイトではまだまだたくさんの偉人を紹介しています。ぜひチェックしてみてください。

Activity 03

地域の新しい「顔」づくり 高森町コスプレMAP

九州の人気観光地・阿蘇。その雄大な景観を作り上げているのは、世界一のカルデラである外輪山と、山々が寄り添ったシルエットが美しい阿蘇五岳です。その阿蘇五岳と外輪山の南側の間に、高森町はあります。南阿蘇の中でも特に「奥座敷」といわれる地で、豊かな自然がそのまま残された町。ここに新しい魅力づけをするべく、九州で活動するレイヤー5名を招き、コスプレツアーを実施。レイヤー絶賛の撮影スポットをまとめた『高森町コスプレMAP』を作成しました。



おすすめスポット

上色見 熊野座神社

深い森に囲まれ、100基近くの灯籠が並ぶ参道は、とても神秘的。別世界へと誘われるようです。また、アニメ『螢火の杜へ』の舞台になったことでも人気を集めています。



田楽保存会

古民家で、囲炉裏を囲みながら郷土料理“田楽”を楽しむ食事処。個室があるので、ゆっくりと食事を楽しみながらノスタルジックな世界観をつくりあげることができます。



湧水トンネル公園

トンネル内には歩道が整備されており、幻想的な写真を撮ることができます。トンネルの外は公園になっており、青空や噴水との写真など、開放的な世界観を楽しめます。



Activity 04

ご当地ゆるキャラをパワーアップ! 風まる



高森町のご当地ゆるキャラ『風まる』と、高森町の観光スポットを組み合わせたオリジナルイラストを制作。観光促進&地元での『風まる』活用に貢献しています。



Activity 05

地域の魅力を凝縮したラジオドラマを制作 「初恋」PODCAST

水俣市は、ヒット曲『初恋』で有名なシンガー・ソングライター、村下孝蔵氏の故郷です。商店街の愛称を『初恋通り』と改めるなど、同市では昭和の名シンガー・ソングライターゆかりの地であることをアピールし、地域活性化につなげようと様々な取り組みを行っています。2016年には『水俣市「初恋」PROJECT 2016』をスタート。企画第1弾として、水俣市で生まれた初恋の物語3部作のラジオドラマを制作、2月25日よりポッドキャストで配信をスタートしました。制作協力は、株式会社

ロボット(制作)、株式会社ドーンマジック(脚本)、青二プロダクション(声優)ら各界の最前線で活躍するトップクリエイター&キャストの皆さん。驚くほどの豪華メンバーです。環境への取り組みだけではない水俣市の魅力を、ポッドキャストを通してぜひご体感ください。

[詳細はこちら](#)

<https://minamata-web.jp/hatsukoi/MyHp/Pub/>

初恋通り

ぼくあの娘は同じ中学に通う中学3年生。国道3号線の北側にある商店街の赤いポストの前の約束の場所だった。知り合ったばかりの二人は少しずつお互いを知る。いつの間にか心を通わせるようになるが。ぼくは、現実から逃げるために二人で起こした事件。あまりの未熟さに、早く大人になりたいと思った。

ぼく役
阪口 大助
あの娘役
神田 朱未
父親役
坂口 哲夫



5センチの恋

一卵性双生児の春人と義人。そして春人の恋人、美奈。ある日突然春人が亡くなってしまう。残された美奈は春人にそっくりな義人と出会う。義人は美奈に惹かれるが、美奈は春人の別れをまだ受け入れられずにいる。お互いにすれ違うわずかな距離。そして、美奈は前に進むために、義人を説き失恋ツアーハウスをはじめる。

港町義人役
岸尾 だいすけ
港町春人役
菅沼 久義
桜井美奈役
大空 直美



27年目の同窓会

27年ぶりの同窓会で明かされる青春時代の秘密。今はそれぞれに家族があり、幸せな生活をしている3人。恋敵だった二人の男とマトン。久しぶりの再会で、遠い昔に忘れていた何かが蘇ってくる。早く大人になりたいと思っていたあの頃。そしてあの時の想いを確認するかのように3人は恋人の聖地に向かう。

紺野悠役
緑川 光
佐原めぐみ役
久川 綾
中津川忠役
草尾 毅



Cast
新井 良平 蟹江 俊介 服部 想之介 祖山 桃子 のぐちゆり

Staff
 ○作／塩原 由香理
 ○台本／横山 龍太
 ○演出／阿部 信行
 ○録音スタジオ／スタジオインスピア
 ○イメージソング／「タイセツナヒト」MICA (歌／作詞／作曲)
 「タイセツナヒト」ギターバージョン Guitars 飯室 博
 ○動画・配信／田尻 誠
 ○協力／青二プロダクション
 ○企画制作／FLAGS inc.
 ○プロデューサー／ツダサト (FLAGS)
 ○イラスト／石田 早識

主催／水俣市

Creators Tours

~Kumamoto MCCの熊本案内~

熊本の魅力をクリエイターが体感! MCCクリエイターズツアー

コンテンツの題材になるような熊本の「お宝」を探し、クリエイター向けのモデルツアーを開催しています。といっても、一般的なツアーではありません。地域住民とのワークショップを行ったり、観光情報誌でもあまり取り上げられないディープなスポットを巡ったり、お酒を酌み交わしながら地域の未来について語り合ったり。地元の生の声を聞くこと、体感してもらうことを重視し、クリエイターと住民の双方が刺激を得られる場を目指しています。目標は、ツアーがキッカケとなってマンガやアニメなどの作品が生まれ、地域活性化につながること。そのためにも、「まずは熊本のファンになってほしい」その一念で実施しています。

ツアーのお問い合わせ

「ツアーに参加したい!」「詳しい内容を聞いてみたい!」
熊本MCC協議会事務局へメールにて
気軽に問い合わせください。
info@kumamoto-mcc.com

米子ガイナックス 様



tour of
合志市
熊本市

GUEST ▼ 赤井 孝美 様

鳥取県よりアニメプロデューサー・赤井孝美さんをお招きし、合志市・熊本市をご案内しました。合志市ではイベント『お宝マンガ発掘隊in合志市』に出演いただき(P4参照)、地元住民やマンガ爱好者たちと交流。熊本市では熊本城や繁華街などを視察していただきました。



熊本MCC協議会では、クリエイターに熊本の魅力を体感してもらうべく、ツアーを実施しています。本年度は4社の方々にお越しいただきました。

ランドスケーププロダクツ 様

GUEST ▶ 岡本 仁 様

東京より編集者・岡本仁さんをお招きし、水俣市・熊本市をご案内しました。水俣の海の再生を象徴する朝市、地元から長く愛される菓子店や食堂、古い車両が走る私鉄など、目の前の風景にまつわる背景をお話しながら熊本の魅力を体験していただきました。



tour of
水俣市
熊本市

PARUS 様

GUEST ▶ 菊池 宣広 様 佐古田 宗幸 様

富山より一般社団法人『PARUS』の菊池宣広さん、佐古田宗幸さんをお招きし、阿蘇郡高森町をご案内しました。雄大な自然を列車の車窓からお楽しみいただき、歴史ある酒蔵・醤油蔵などを見学。夜は名物・あか牛を炙りながら、地元活性化についての話に花が咲きました。



tour of
高森町

ロボット 様

GUEST ▶ 柳井 研 様

情報番組ディレクター

GUEST ▶ 名古屋 宏明 様

東京より『ロボット』プロデューサーの柳井研さんと、情報番組等を手掛けるディレクターの名古屋さんをお招きました。水俣市は「初恋プロジェクト」を進めており、今回はそのプロモーションを考えための取材も兼ねての視察。さらに『初恋通り』、『初恋の聖地』などをめぐり、初恋通りのストーリーを利用したアニメーションのプロットを作成いただきました。



tour of
水俣市

Topics

～Kumamoto MCC参画地域の紹介～



目指すは「半農半クリエイター」!

DATA

熊本市の北東部に位置し、総面積は53.19km²(東西約12km、南北約8km)。人口は58,993人(平成27年2月時点)。北部地域は阿蘇の火山灰が降り積んだ「黒ボク」と呼ばれる火山灰性腐植土に覆われた広大な農地が広がり、熊本県内有数の穀倉地帯となっています。住宅地と商業地は、以前から国道・県道や熊本電鉄沿線に形成され、熊本市に隣接した南西部一帯に新市街地を形成しています。

お問い合わせ ☎096-248-1028(合志市政策部政策課)

クリエイター塾を開講!

合志市および熊本県に眠っている若手コンテンツクリエイターの卵を発掘し、創業育成塾を通じて自立、創業、就労を支援する『クリエイター塾』を行っています。第1回となる2015年度は株式会社ロボットの協力のもと行われ、全10コマの授業を実施。コンテンツ産業の第一線で活躍するプロたちを講師として招き、塾生たちは貴重で濃密な時間を過ごしました。農業をしながら、アニメをはじめとしたコンテンツ産業の仕事に関わるライフスタイル「半農半クリエイター」を推進する合志市ならではのユニークで夢のある取り組みです。

<http://koshi-creator.jp/>



イベントも積極的に開催

育成塾だけでなく、イベントも数多く開催しています。中でも、話題を集めたのは、2015年8月に開催された『合志市クリエイター塾シンポジウム』。「映画監督になる方法」と題し、本広克行さん(プロダクションLG)、品川ヒロシさん(よしもとクリエイティブ・エージェンシー)、耶雲哉治さん(ロボット)という3名の映画監督によるトークセッションが行われました。映画監督を志した理由や、映画監督を目指す若者へのアドバイス、来場していた学生からの質問タイムなど、盛りだくさんのステージに。3名の監督は、映画だけでなく話術でも観客を魅了する、まさにプロフェッショナルな方々でした。

マンガ『カタルパの樹』を制作

「合志市の誇れる歴史を子どもたちに分かりやすく伝え、郷土愛を育むきっかけにしたい」。そんな想いから誕生したのが、マンガ『カタルパの樹～合志義塾ものがたり～』です。明治25年から昭和24年に開塾するまで、約7000人の卒業生を輩出した私塾『合志義塾』。農民のための学校をつくるべく奮闘した若き教師・工藤左一と平田一十の物語を、郷土の歴史マンガに仕上げました。



観光スポット



カントリーパーク 熊本県農業公園

広大な敷地の公園には、季節の花や遊具がたくさん。家族連れで賑わうほか、最近ではコスプレイヤーたちのロケスポットとしても人気を集めています。

<http://www.country-park.jp/>



竹迫城跡公園

鎌倉時代に築城され、1585年の薩摩の島津氏との戦いで落城したと伝えられる竹迫城。現在は自然の地形を生かした公園として整備されています。

<http://www.city.koshi.lg.jp>



クラッシーノ・マルシェ

2016年2月にオープンした地域連携ショップ。合志市産の新鮮食材や加工品のほか、天草の鮮魚や阿蘇のお肉など、熊本のお宝グルメがいっぱい!

<http://www.klassino-koshi.jp/benten/>

熊本MCC協議会の参画団体は、熊本県の合志市、高森町、水俣市です。その他、いくつかの準参画団体とも連携をしながら活動しています。ここでは、各団体の取り組みや地域の魅力の一例をご紹介します。



阿蘇の自然とともに生きる

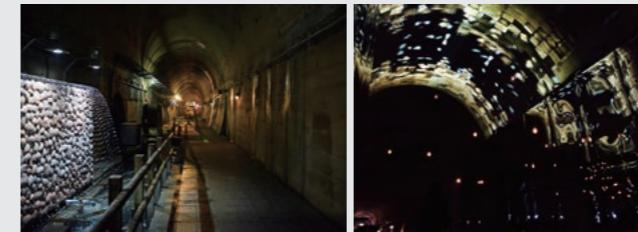
熊本県の最東端にあり、世界一のカルデラである外輪山と、山々が寄り添ったシルエットが美しい阿蘇五岳の南側の間に位置します。南阿蘇エリアの中でも「奥座敷」といわれる場所で、静かで自然の安らぎあふれる町です。総面積は175.06km²、人口は6,777人(平成28年1月末時点)。町のシンボルは阿蘇五岳のひとつ、ぎざぎざ頭の根子岳(標高1,408m)。神秘的な美しさが多く観光客を魅了しています。

観光に関するお問い合わせ ☎0967-62-1111(高森町政策推進課企画観光係)

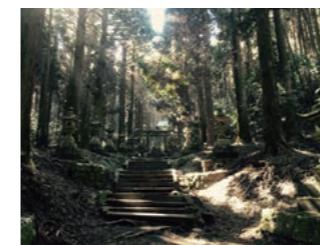
先端技術で観光地に新たな風を

南阿蘇鉄道高森駅の南側、歩いて10分のところにある『湧水トンネル公園』。旧国鉄高森線と高千穂線を結ぶ工事が昭和48年12月から着手されました。昭和50年2月、突然大量の出水に見舞われ、その後も度重なる出水事故が発生して工事は中断。その結果、現在は高森町の貴重な水源地であり、人気の観光スポットとなっています。2015年12月からは新しい試みとして、トンネル内でのプロジェクトマッピングをスタート。高森町の湧水と遺構に先端技術が融合し、唯一無二の世界観を楽しめます。

<http://www.town.takamori.kumamoto.jp/kankomap/kanko/yusui.html>



観光スポット



上色見熊野座神社

深い森の中にある神社。参道には100基近くの灯籠が並び、とても神秘的。マンガ・アニメ作品の舞台のモデルになったことでも話題を集めているスポットです。

<http://www.town.takamori.kumamoto.jp/kankomap/kanko/sp/kamisikimukumanaimasujinja.html>



草部吉見神社

日本三大下り宮のひとつに数えられる神社。もともとこの辺りは池であったという伝えがあり、鳥居より石段を百数十段下ったところに社殿が鎮座しています。

<http://www.town.takamori.kumamoto.jp/kankomap/kanko/sp/kusakabeyoshiminja.html>



南阿蘇鉄道

阿蘇郡高森町と南阿蘇村を横断する鉄道です。地域住民の身近な交通手段として親しまれていますが、トロッコ列車も走っており、観光客にも大人気。車窓からの美しい眺めは感動必至。

<http://www.mt-torokko.com/>



山村酒造

宝曆12年(1762年)創業。飲用はもとより、醸造にも適した美しい阿蘇の伏流水を使い、酒造りを行っています。代表的な銘柄は「阿蘇の酒 れいさん」。

<http://shop.reizan.com/>



木郷瀧自然つりセンター

自然の渓流を生かした釣り場です。遊泳する魚はヤマメ・イワナ・ニジマスなど。エサ釣り、フライフィッシング、ルアーといろいろな釣りが楽しめます。

<http://www.town.takamori.kumamoto.jp/kankomap/kanko/sp/kigosizentricenter.html>



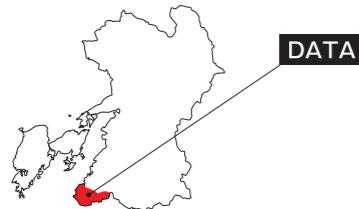
高森田楽保存会

鎌倉時代から続くといわれる高森の名物、田楽。町内には田楽料理店が数店あり、中でも「田楽保存会」は第130年の民家を店舗として利用した人気の一軒。

<http://www.town.takamori.kumamoto.jp/kankomap/taberu/sp/dengakuhozonkai.html>



目指すはコンテンツを活かした街づくり



DATA

熊本県の南端、鹿児島県との県境に位置し、西は八代海(不知火海)に面しています。面積は162.89km²で、東西に約22km、南北に約14km、人口は25,893人(平成27年12月末時点)。不知火海を望むリニア式海岸の美しい湯の児海岸や歴史情緒溢れる温泉街、環境をテーマとした施設など見どころはいっぱいです。また、温暖な気候のおかげで、特産柑橘「デコポン」をはじめとした山海の恵みも豊富。多彩な味覚に出会えます。

観光に関するお問い合わせ ☎0966-63-2079(みなまた観光物産協会)

漫画家・江口寿史氏とコラボレーション

水俣市は、80年代に大ブレイクしたギャグ漫画『ストップひばりくん』などで知られる漫画家・江口寿史氏の出身地です。イラストレーターでもあり、雑誌、広告、小説本の表紙、CDジャケット、アニメ映画のキャラクターデザイン等、作品は多岐に渡ります。近年は水俣市観光ポスターの原画を制作。織細なタッチで描かれた女性と風景のイラストは、地域活性化に大きく貢献しています。



▼観光スポット



エコパーク水俣 親水公園

恋路島を目の前にした場所に位置する護岸遊歩道で、夕陽の絶景スポット。様々な祈りを込めて彫られた石仏が海を見つめています。恋人の聖地もあります。
<http://www.city.minamata.lg.jp/149.html>



エコパーク水俣 バラ園

エコパーク水俣の入口に位置するローズガーデン。13,000m²のバラ園では、350品種のオールドローズコレクションをはじめ750種6,500本のバラに出会えます。
<http://www.city.minamata.lg.jp/149.html>



エコパーク水俣 竹林園

160種類の竹笹類で構成された和風庭園。水俣湾埋め立てで環境は変わりましたが、竹の生命力をもって「新たな環境を開拓して欲しい」との願いが込められています。
<http://www.city.minamata.lg.jp/149.html>



湯の鶴温泉

湯治場として有名な山間部の温泉郷。700年前に平家の落人が、傷ついた鶴が湯あみするのを見て湯の存在を知り、「湯の鶴温泉」と名付けたとされています。
<http://www.city.minamata.lg.jp/377.html>



湯の児スペイン村 福田農場

高台に位置しており、園内どこからでも見渡せる不知火海の眺めは最高! スペイン料理や特産の柑橘を使ったグレメ、フラメンコショーなども楽しめます。
<http://www.fukuda-farm.co.jp/>

みなまた
水俣市
Minamata city

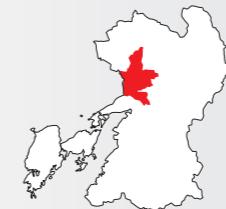


見どころ、話題 いっぱいの県都

DATA

熊本県の西北部に位置する熊本市。面積は390.32km²で、人口は738,371人(平成26年4月1日時点)。日本三大名城に数えられる『熊本城』をはじめ、夏目漱石や宮本武蔵といった歴史上の偉人たちゆかりの地など観光スポットも数多く、国内外からのたくさんの観光客で賑わいます。サービス産業が中心の都市で、そのほかIC産業の集積、全国でも高い生産性を誇る都市型農業、水産業など各種産業も展開されています。

観光に関するお問い合わせ ☎096-328-2072
(熊本市観光文化交流局シティプロモーション課)



商業施設も 多彩な人気エリア

DATA

菊陽町は熊本市の北東部に位置し、東には阿蘇の連山が眺望できます。町域は東西11.8km、南北9.4km、面積37.46km²、人口は40,583人(平成28年1月末時点)。特に発展著しいのは「光の森」地域で、大型ショッピングセンターをはじめ様々な商業施設が集まり、県内外から移り住む人も多く活気があふれています。また、多様な農畜産物が生産されており、特に、国の生産指定を受けている「菊陽にんじん」は、その品質を評価され全国へと出荷されています。

観光に関するお問い合わせ ☎096-232-2165
(菊陽町商工振興課商工振興係)



▼観光スポット



熊本城

トリップアドバイザー「行ってよかった!日本の城ランキング」で2013年から2015年まで3年連続1位に輝いた名城。ボランティアガイドによるお城案内も大人気です。
<http://www.manyou-kumamoto.jp/castle/>

▼観光スポット



馬場楠井出の鼻ぐり

熊本城を築城した肥後熊本藩主・加藤清正が造ったとされる井出(用水路)です。穴の形が牛の鼻輪を通す穴に似ているということが「鼻ぐり」名称の由来とされています。
<http://town.kikuyo.lg.jp/soshiki/19/babagusuidenohanaguri.html>



海の恵み あふれる美しい島

DATA

熊本県南西部に位置し、周囲を3つの海(有明海、八代海、東シナ海)に囲まれた天草諸島の中で、天草上島の一部と天草下島・御所浦島などで構成されています。面積は683.32km²、人口は85,525人(平成28年1月末時点)。産業は温暖な気候を生かした農業や、豊かな水産資源を生かした漁業を主として発展。雲仙天草国立公園に指定された自然環境や、キリシタンの歴史文化など多くの地域資源に恵まれ、年間約290万人の観光客が訪れます。

観光に関するお問い合わせ ☎0969-22-2243(天草宝島観光協会)
☎0969-22-2243(天草宝島観光協会)



マンガ、自然、 温泉に出会える町

DATA

熊本県の南部、球磨盆地の東端に位置し、東は宮崎県児湯郡西米良村と九州山脈で接しています。町の中心部から熊本までは118km、宮崎市までは120km、鹿児島市までは110kmで、3県都のほぼ中間地点です。面積は48.42km²、人口は4,163人(平成27年12月末時点)。風光明媚な自然や野趣あふれる温泉、のどかな「くま川鉄道」、湯前町出身の政治漫画家である故・那須良輔氏の偉業を保存・展示した「湯前まんが美術館」などを自慢に、多くの観光客が訪れます。

観光に関するお問い合わせ ☎0966-43-4111(湯前町産業振興課)
☎0966-43-4111(湯前町産業振興課)



▼観光スポット



崎津集落

熊本県・長崎県・関係市町と共に平成30年の世界遺産登録を目指す天草の「崎津集落」。漁村集落にたたずむゴシック様式の協会内部は、国内でも少ない畳敷きです。
<http://hp.amakusa-web.jp/a1075/MyHp/Pub/>



ゆのまえ温泉 湯楽里

湯前町の豊かな自然を一望できる露天風呂が人気の天然温泉施設。ホテルやコテージのほか、ゴーカートやバーベルフ、レストランなどの施設もあり好評。
<http://www.y-yurari.co.jp/>

Topics ~熊本のコンテンツ関連ニュース~

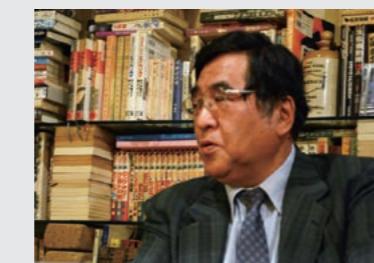
key person

豊富な知識とコレクションを誇る NPO法人『熊本マンガミュージアムプロジェクト(クママン)』 代表・橋本博さん

「熊本マンガミュージアムの建設」を目指す『クママン』代表の橋本さん。2015年に惜しまれつつ幕を閉じた絶版マンガ専門古書店『キララ文庫』(熊本市)の元店主であり、マンガ関連イベントの企画や施設運営のコンサルティングを行うなど、マンガを軸とした活動は多岐にわたります。さらに『月刊IKKI』(小学館)にて、芳崎せいむ作『金魚屋古書店』の巻末コラム『金魚屋古書店雑記帳』も10年に渡って連載されていました。

マンガ研究・評論家でもある橋本さんは、熊本での活動だけでなく、明治大学の講座に登壇するなど全国規模で活動されています。また、40年に渡り収集した膨大なコレクションには絶版も多く、お宝がたくさん。マンガ史を振り返る貴重な資料としても注目を集めています。

NPO法人『熊本マンガミュージアムプロジェクト(クママン)』
<http://www.kuma-man.com/>



event

マンガ・アニメ・ポップカルチャーの祭典 くまフェス



熊本市中心街を会場に、2012年から年1回開催中のイベント『くまフェス』。マンガ・アニメ・ポップカルチャーの祭典で、コスプレパフォーマンスやゲスト声優、アニソンライブなどステージイベントも大盛況。台湾からのゲストパフォーマーも登場するなど、国内外から注目を集めており、毎年来場者は2万人を超えていました。2016年も開催予定。詳しくは公式サイトをご覧ください。

くまフェス <http://kumafes.com/>

NPO

熊本をマンガの聖地に! NPO法人『グランド12』

「熊本をマンガの聖地にしよう」というコンセプトで活動をしているNPO法人です。マンガという世界に通じる日本の文化を通して、熊本の街を元気にする企画を計画・実行しています。『くまフェス』の企画・主催も同団体です。

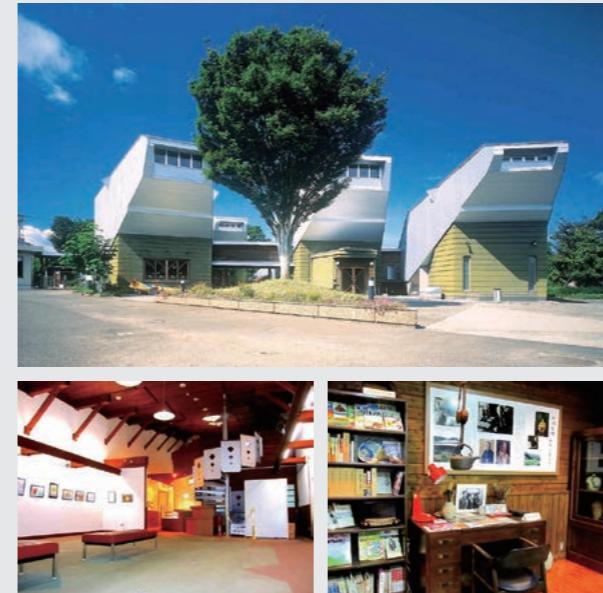
NPO法人『グランド12』 <http://www.grand12.com/>



熊本を拠点に活躍するキーマンや、イベント、注目スポットなどをご紹介します。

spot

全国からファンが集う 『湯前まんが美術館(那須良輔記念館)』



湯前まんが美術館(那須良輔記念館)
<http://yunomae-manga.com/>

湯前町出身の政治漫画家、故・那須良輔氏の偉業を保存・展示する施設として開館した美術館です。日本の優れた漫画文化を後世に継承していくため、那須良輔氏の作品を展示する常設展示室と書斎を再現したコーナー、企画展示室を備えています。また年に数回、特別展も開催されており、2015年度は『少年サンデー皆川亮二原画展』や『満田拓也の世界』などを開催。県内外から多くのファンが訪れます。さらに、恒例イベントとして『ゆのまえ漫画フェスタ』も開催中です。漫画家によるトークショーやステージイベントなどが行われ、毎回多くのファンで賑わいます。

那須 良輔 Ryosuke Nasu

1913年、湯前町下染田生まれ。昭和8年のデビュー以来、戦中戦後を通じて、日本漫画界の重鎮として活躍。政治に対する怒りをバネに、すぐれたデッサンで時の政治家の似顔絵を特徴たっぷりに描きながら、それぞれの時代の政治や社会事象を痛烈に風刺しました。また、釣りや自然を題材にした隨筆も多く、広く文化人として知られています。



来熊120年、没後100年、生誕150年 夏目漱石ゆかりの場所多数

文豪・夏目漱石。熊本とのゆかりは深く、1896年、第五高等学校(現在の熊本大学)の教師として来熊しました。4年3ヶ月の熊本滞在期間中に6回転居し、そのうち5番目に移り住んだのが写真の『夏目漱石内坪井旧居』。最長となる1年8ヶ月を暮らした家です。当時、新婚だった鏡子夫人と暮らし、長女・筆子さんが誕生した夏目家にとっての思い出の家。筆子さんの産湯に使った井戸や、五高の教え子で後に物理学者で優れた随筆家となった寺田寅彦ゆかりの馬丁小屋(ばていごや)などが現在も残っています。記念館として公開されている内部には、貴重な漱石直筆の原稿やレプリカ原稿、五高時代の写真などが展示されています。その他、草枕の道、峠の茶屋などゆかりの地が熊本市には数多くあります。なお、平成28・29年に漱石は来熊120年、没後100年、生誕150年を迎えることもあり、熊本市では様々なイベントや企画が行われる予定です。



<http://www.manyou-kumamoto.jp/contents.cfm?type=A&id=79>

MCC pressでは熊本の様々な情報をお伝えしていきます。お楽しみに!

Visit

先進地・鳥取県へ学びの旅



熊本MCC協議会では昨年10月、コンテンツを活かした地域づくりの先進地である鳥取県へ視察に伺いました。鳥取県庁、倉吉市、米子市、境港市、岩美町の取り組みについてお話を伺うとともに、観光地を見学。一般社団法人『山陰コンテンツビジネスパーク協議会』の方々とも交流し、貴重な機会となりました。また、コンテンツの持つ力と、地域活性化の可能性を改めて実感しました。ご協力いただいた皆様、本当にありがとうございました。

MCC Information

協力企業・団体

募集中!

熊本のさらなる活性化と一緒に目指しましょう!

当協議会では、コンテンツを活用した地域活性化と一緒に取り組んでいただける企業・団体を募集しています。コンテンツ産業に携わる企業・団体はもちろんのこと、農業、観光業、製造業、ボランティアグループなど、一見するとコンテンツ産業とは関わりがなさそうな企業・団体であっても、工夫とアイデア次第で活躍できる場がきっとあるはずです。詳しくは下記事務局までお問い合わせください。

クリエイターズツアー参加企業

募集中!

熊本の魅力を実感してください

7~8ページでご紹介していますが、当協議会では不定期でクリエイターズツアーを開催しています。「熊本を見てみたい」「作品づくりの刺激を得たい」「自然豊かな場所にアトリエを構えたい」など、ご興味のある方は下記事務局へお気軽にお問い合わせください。マンガ家、映画監督、シナリオライター、アニメーターなど、コンテンツ産業に携わる方であれば、個人でのお申し込みもお受けしています。

お申し込み・お問い合わせ | KUMAMOTO MCC協議会事務局(合志市政策部政策課) Tel.096-248-1028 | info@kumamoto-mcc.com



Kumamoto MCC Press vol.1 制作・発行／ Kumamoto Media Contents Commission 熊本メディアコンテンツコミッショナリ協議会
事務局(熊本県合志市政策部政策課) Tel.096-248-1028 | info@kumamoto-mcc.com
公式サイト <http://www.kumamoto-mcc.com/>